

## 新庁舎建設市民懇談会（４月）の結果概要について

### 1. 実施形式

市担当から新庁舎建設基本構想について概要を説明し、建設候補地等について意見交換を行った。

### 2. 開催日程・参加者数等（合計参加者 45 人）

日時	会場	参加者	戸倉 希望者	泉町 希望者
4月20日（土）午前10時	市役所書庫棟会議室	8人	3人	2人
4月22日（月）午後6時30分	リオンホール	14人		9人
4月23日（火）午後2時	恋ヶ窪公民館	6人	3人	1人
4月24日（水）午前10時	本多公民館	5人		2人
4月24日（水）午後2時	もとまち公民館	1人		1人
4月25日（木）午前10時	光公民館	7人	2人	4人
4月26日（金）午前10時	並木公民館	4人		

※建設候補地の希望はアンケートによる回答結果（参加者数との差は無回答）

### 3. 頂いた意見の概要（主なもの）

#### 【市役所】

- ・泉町所有地へ移転し、跡地での公共施設再配置等も一緒に考える必要がある。
- ・オリンピックによる建設需要が落ち着く時期を考えるべき。
- ・設計に市民の意見を反映しやすい手法を採用するべきである。
- ・恋ヶ窪地域の発展、地理的中心の近さから現庁舎用地を支持する。
- ・仮設庁舎、分散庁舎という不便な現状を一刻も早く改善するため、早期の新庁舎建設を求める。
- ・住民投票は多額の経費がかかり住民への丸投げであり、やるべきではない。
- ・新庁舎だけでなく、まちづくりの視点で考えるべきである。
- ・建設地を決めるのは議会であるのに、いつまで市民に聞くのかと思う。
- ・建設候補地について、市民それぞれに利害があるのは当然であり、市はもっと手際よく決めていくべきである。

#### 【リオンホール】

- ・防災性、工事のしやすさ、近隣住宅への日照問題などから、泉町所有地を支持する。
- ・障害者として、障害者センターに近い泉町所有地に新庁舎ができると災害時にも安心である。

- ・泉町所有地を支持しており、まとまった土地である泉町所有地を活用できる貴重な機会を失ってしまうことを心配している。

#### 【恋ヶ窪公民館】

- ・災害対応から、消防署等と集中する泉町所有地を支持する。
- ・自治会等の災害時の体制が現庁舎を中心にできているため、庁舎の移転は好ましくない。
- ・これまでの歴史があり、急激な変化を避けるため、心情的に現庁舎用地を支持する。
- ・国分寺崖線下の湧水が減らないよう建設には配慮が必要である。

#### 【本多公民館】

- ・泉町所有地を支持するが、跡地売却費を用地購入費に充てるべきである。
- ・東京都の大動脈である JR 中央線に近いため泉町所有地を支持する。

#### 【もとまち公民館】

- ・現庁舎用地では工事難度から費用が上昇する可能性が高い。
- ・移転する場合の跡地活用の具体的な可能性を示すべきである。

#### 【光公民館】

- ・泉町所有地の支持者が多い気がするが、府中市に寄り過ぎる印象がある。
- ・人口減少等の市の課題解決という大きな視点で考えるべき。
- ・議論が進んでおらず、過去にさかのぼっているような印象さえ受ける。
- ・分散庁舎が不便であり、集約するなら泉町所有地が適切である。
- ・移転する場合の跡地活用に不安があり、その具体像を示すべきである。
- ・緑が多い武蔵国分寺跡に近いため、泉町所有地を支持する。
- ・泉町所有地では公共施設しか建てられないため、そうした制約がない現庁舎用地を支持する。
- ・泉町所有地購入による資産の増加を加味しないのは不公平である。
- ・現庁舎用地の工事費は想定事業費以上にかかるはずであり、日照等による建物形状の制約から庁舎の利便性も低くなる。

#### 【並木公民館】

- ・移転時には市域の西側の住民にも配慮してもらいたい。
- ・新庁舎建設による市民にとってのメリットを具体的に示すべき。
- ・ソフト面も含めた市民サービスのあり方も考えなければ、単なる庁舎の建替えとなり、サービスの改善につながらないので、それらの具体的な検討に着手すべきである。
- ・公共施設の再配置等も含め、新庁舎だけではない大きな視点で考えるべきである。